

株式会社ヒガシホールディングス

2026年3月期 連結決算説明資料

東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード<9029>



01

2026年3月期 連結決算概要

[P.2](#)

02

中期経営計画2028の上方修正

[P.5](#)

03

2027年3月期 連結業績予想

[P.7](#)

04

業績・株主還元の推移

[P.9](#)

05

トピックス

[P.14](#)

01

2026年3月期 連結決算概要

P.2

02

中期経営計画2028の上方修正

P.5

03

2027年3月期 連結業績予想

P.7

04

業績・株主還元の推移

P.9

05

トピックス

P.14

2026年3月期の連結業績は、売上高**579.7億円**(対前年増加額 **+98.4億円**、増加率 **+20.5%**)、

経常利益**41.5億円**(対前年増加額 **+12.1億円**、増加率 **+41.4%**)と、ともに**過去最高**を更新

1株当たりの配当金については、2025年3月期の42円から18円積み増しし、**60円**を予定

- 売上高は、大手EC向け3PLセンターでの取扱量の増加、オフィスサービス事業での大型案件受注、NEXT GIGAスクール構想に伴うICT機器の更新案件の受注と、それに関連したICT機器販売の受託、大手EC向け輸送業務の拡大、前年度下期より連結を開始した(株)ネオコンピタンスの連結期間通年化等、幅広い事業領域で増収
- 経常利益では、上記記載の増収に加え、大手EC向け大型3PLセンターが安定稼働に入ったことが、増益に貢献

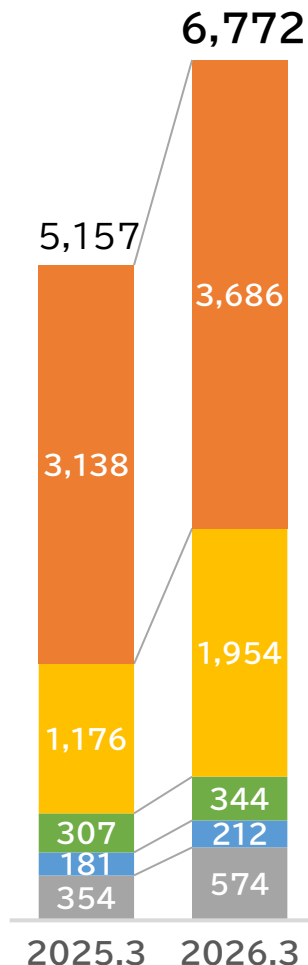
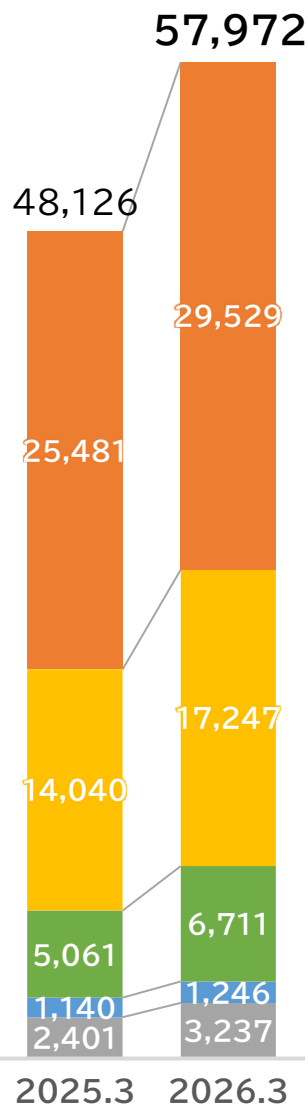
(百万円)	2025年3月期		2026年3月期				前年同期比	
	実績	全体に占める割合(%)	実績	全体に占める割合(%)	通期業績予想	業績予想に対する達成率	増減額	増減率
売上高	48,126	--	57,972	--	54,000	107.4%	+9,846	+20.5%
売上総利益	9,025	18.8%	11,095	19.1%	--	--	+2,069	+22.9%
販売費および一般管理費	6,286	13.1%	7,050	12.2%	--	--	+764	+12.2%
営業利益	2,739	5.7%	4,044	7.0%	3,256	124.2%	+1,304	+47.6%
経常利益	2,935	6.1%	4,150	7.2%	3,400	122.1%	+1,215	+41.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,805	3.8%	2,602	4.5%	2,176	119.6%	+796	+44.1%
1株当たりの配当金(円)	42.00	--	60.00	--	50.00	--	+18.00	--

セグメント別 売上高

(百万円)

セグメント別 利益

(百万円)



全セグメントで対前年増収増益となる成長を達成

● 運輸事業

オフィスサービス事業での大型案件受注、大手ECの拠点間輸送の受注拡大、NEXT GIGAスクール構想におけるICT機器の更新に伴うキitting業務の受注、ビルデリバリー事業での新拠点開設に伴う案件受注等により、増収増益

● 倉庫事業

いずれも10,000坪を超える大型3PLセンターである流山LC(※)、神戸西LC、川西LCの稼働率が上昇したことや、その他の既存センターの作業効率化が進んだことにより、大幅な増収増益

● 商品販売事業

キitting業務の受注に関わるICT機器販売の受託や、大手インフラ会社向け資材販売の取扱量の増加等により増収増益

● ウェルフェア事業

前期に実施したお客様との距離を近づける小規模拠点の開設効果が顕在化し、増収増益

● その他事業

2024年10月より連結を開始した(株)ネオコンピタンスの連結期間通年化等により、増収増益

※LC:ロジスティクスセンターの略

01

2026年3月期 連結決算概要

P.2

02

中期経営計画2028の上方修正

P.5

03

2027年3月期 連結業績予想

P.7

04

業績・株主還元の推移

P.9

05

トピックス

P.14

想定を上回る業容拡大の結果、計画初年度となる2026年3月期に当初の業績目標数値を達成したため、

中期経営計画2028の最終年度の目標数値を上方修正

※「中期経営計画値の見直しに関するお知らせ(2026年5月8日付)」にてリリース済み

- 中期経営計画2028の初年度である2026年3月期の実績が、売上高・経常利益ともに当初計画の最終年度の目標数値を達成
- 最終年度に向け、各事業領域で事業成長を推進するための投資や、流山LC増床部分の本格稼働、自社大型車両の増車に伴う輸送業務の拡大等により、更なる業績の伸長が見込まれるため、目標数値を売上高610億円、経常利益44億円に上方修正
- 1株当たりの配当金についても、業績の上方修正を鑑み、当初中期計画から9円積み増しし、過去最高額となる66円を予定

<経営目標数値>

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想※	2028年3月期 当初中期計画	2028年3月期 修正中期計画
売上高	579.7億円	590億円	550億円	610億円
経常利益	41.5億円	42.5億円	35億円	44億円
1株当たり配当金	60円00銭 (予定)	62円00銭	57円00銭	66円00銭
ROE	17.6%	8%以上	8%以上	8%以上
配当性向	30.1%	30.1%	30%以上	30%以上
従業員数	1,744名	1,800名	1,800名	1,850名

※P.8参照

01

2026年3月期 連結決算概要

P.2

02

中期経営計画2028の上方修正

P.5

03

2027年3月期 連結業績予想

P.7

04

業績・株主還元の推移

P.9

05

トピックス

P.14

中期経営計画2028の2年目として、売上高**590億円**、経常利益**42.5億円**と、ともに**過去最高**を見込む

1株当たりの配当金については、2026年3月期の60円から2円積み増しし、**62円**を予定

※中期経営計画2028の上方修正については、P.6に記載

- 売上高は、2026年3月期に受注したICT機器販売の収束や、オフィスサービス事業での大型案件受注の反動、大口得意先向けカタログギフト発送業務の収束等の減収要因はあるものの、流山LC増床部分の稼働開始や大手EC向けの3PL業務及び輸送業務の更なる拡大に加え、適正価格への継続的な見直し等の効果により、増収見込み
- 経常利益についても、前年度に引き続き、幅広い事業で人材・車両・設備への大型投資等の支出が予定されているものの、上記の増収に加え、前年度に先行実施した投資に伴う費用の減少が寄与し、増益見込み
- なお、当社グループにおける2026年3月期売上高に対する燃料費の割合は約0.4%であり、原油価格高騰に伴う燃料費の上昇の直接的な影響は僅少だが、中東情勢等の不透明な経済環境を踏まえ、保守的な予想としている
- 1株当たりの配当金についても、2026年3月期より2円積み増しし、62円を予定

(百万円)	2026年3月期	
	実績	全体に占める割合(%)
売上高	57,972	--
営業利益	4,044	7.0%
経常利益	4,150	7.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,602	4.5%
1株当たりの当期純利益(円)	199.25	--
1株当たりの配当金(円)	60.00	--



2027年3月期			
通期予想	全体に占める割合(%)	2026年3月期との差	
		増減額	増減率
59,000	--	+1,027	+1.8%
4,100	6.9%	+55	+1.4%
4,250	7.2%	+99	+2.4%
2,703	4.6%	+100	+3.9%
206.16	--	--	--
62.00	--	+2.00	--

01

2026年3月期 連結決算概要

P.2

02

中期経営計画2028の上方修正

P.5

03

2027年3月期 連結業績予想

P.7

04

業績・株主還元の推移

P.9

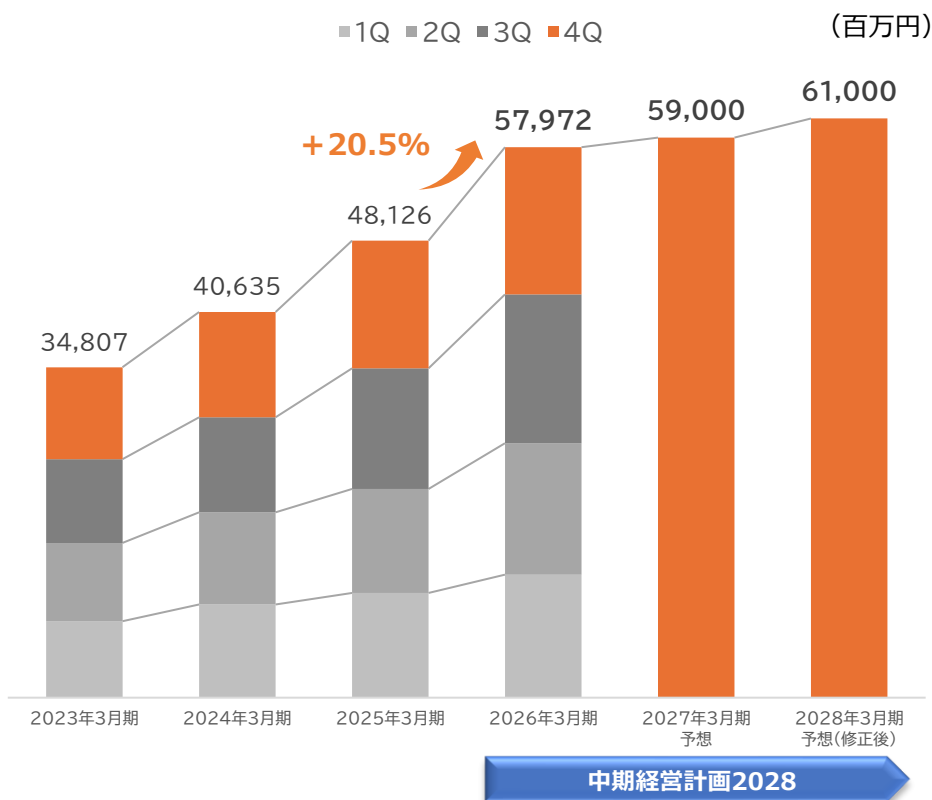
05

トピックス

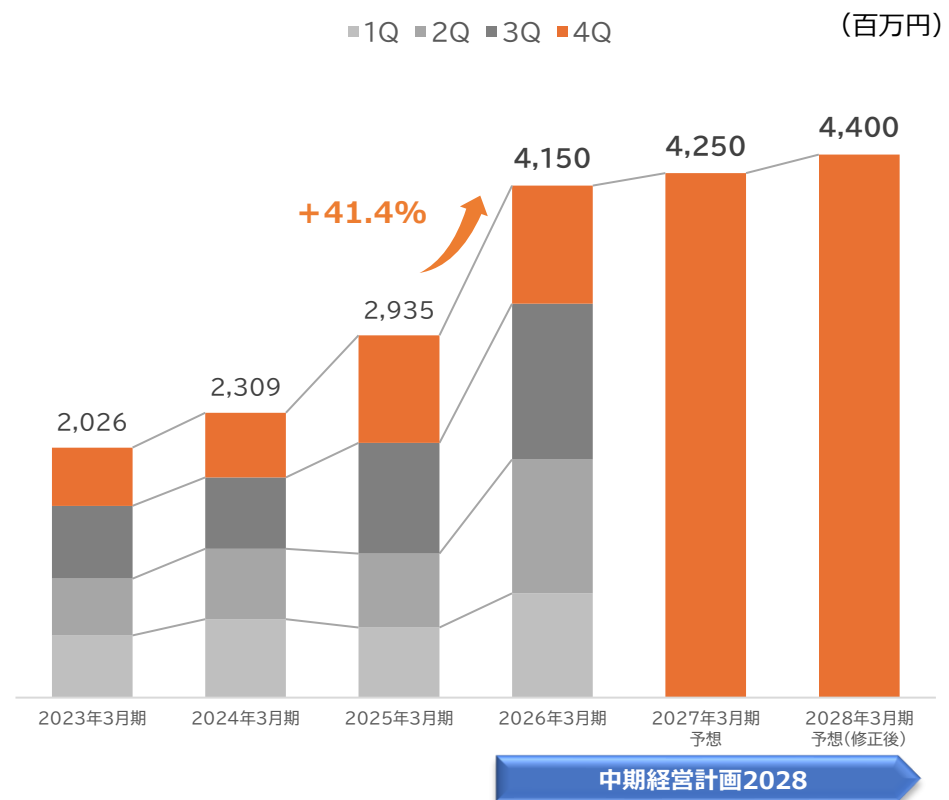
P.14

- 2023年3月期は2022年3月期下期に参入したインフラ資材購入業務の通年化や、山神運輸工業(株)及び(株)旅人の買収等により成長、2024年3月期は大手EC向けに流山LC、北大阪LC、神戸西LCの開設等により成長、2025年3月期は大手EC向け輸送業務への本格参入やビルデリバリー業務の拡張、首都圏における移転業務拡大、(株)ネオコンピタンスの買収等により成長
- 2026年3月期についても幅広い事業が成長を牽引し、5期連続で過去最高売上高を更新、経常利益については9期連続で過去最高を更新
- 中期経営計画2028の最終年度に向けて引き続き増収増益を見込む

売上高

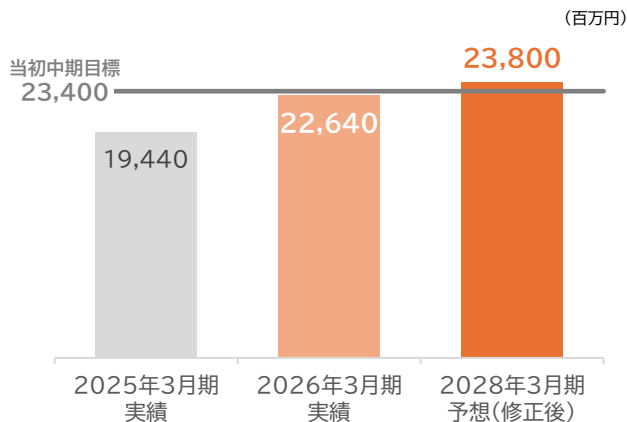


経常利益



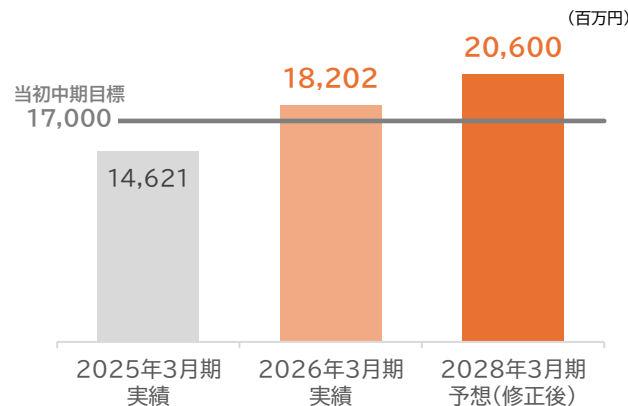
一般物流事業

- 2026年3月期は大手EC向け輸送業務の拡大等により増収。今後も自社車両の増車、冷蔵・冷凍輸送業務の拡大等により業容拡大を見込む。



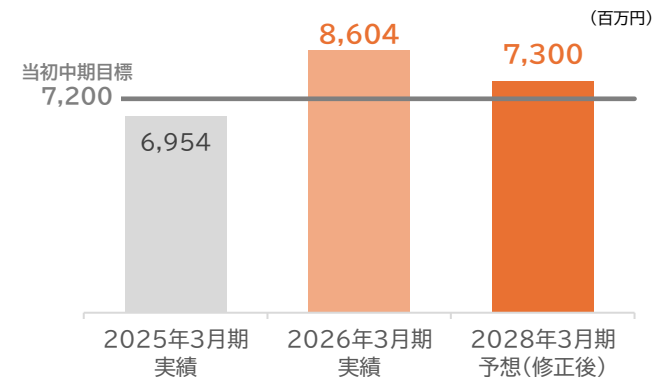
3PL事業

- 2026年3月期は大手EC向け3PLセンターの取扱量増加により大幅増収。2026年5月に流山LCの増床稼働を開始し、更なる増収を見込む。



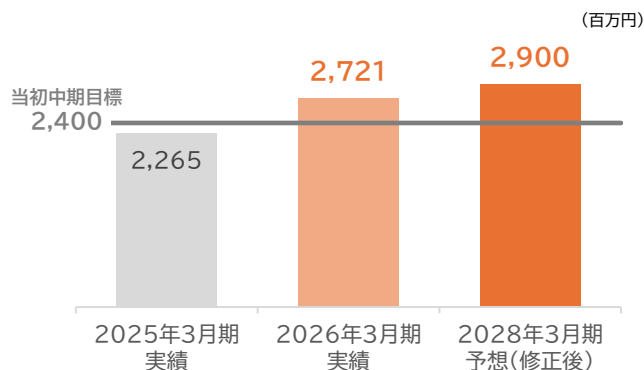
オフィスサービス事業

- 2026年3月期は大型案件受注もあり大幅増収。今後は大規模オフィスビルの供給減が見込まれるものの、首都圏を中心に案件獲得を目指す。



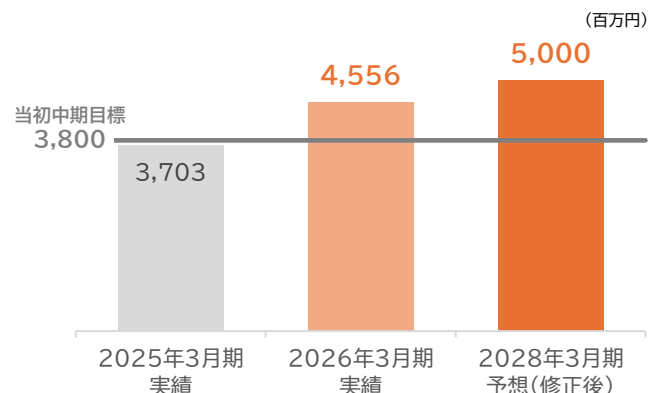
ビルデリバリー事業

- 2026年3月期は、新規ビルデリバリー拠点を相次いで開設したことにより、大幅な増収。今後、入居するテナント企業との取引拡大を目指す。



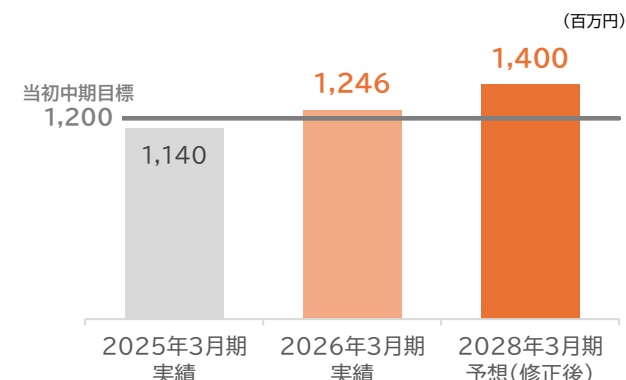
ITサービス事業

- 2026年3月期はNEXT GIGAスクール構想に伴うキitting業務により大幅な増収。GIGAスクール案件の継続対応、新規案件の獲得により成長を目指す。



介護サービス事業

- 2026年3月期は、2025年3月期に開設した小規模拠点の営業効果により増収。引き続きサービスレベルの維持・向上に取り組み、売上拡大を図る。



【ご参考：報告セグメントと事業領域の対応】

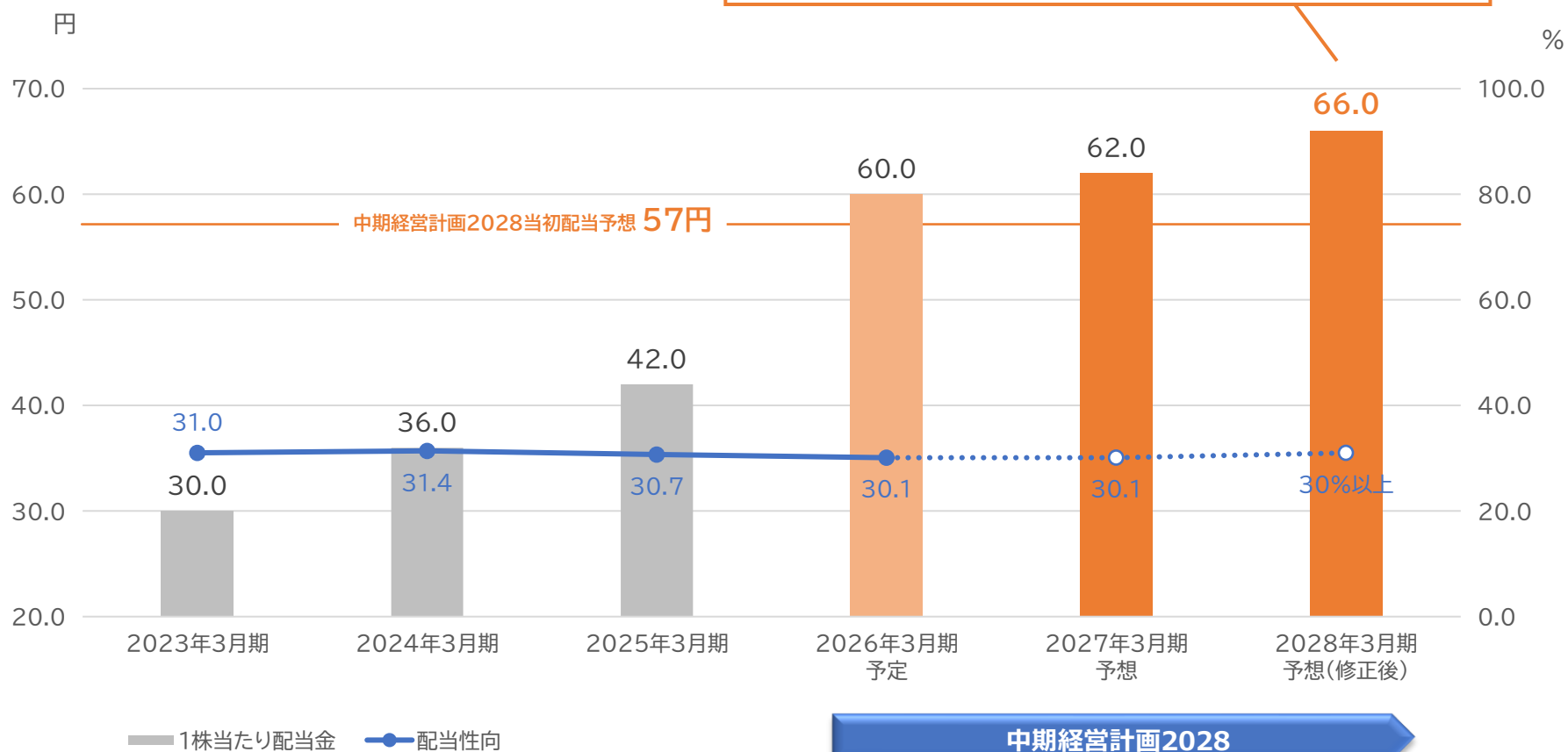
事業領域 \ 報告セグメント	運送	倉庫	商品販売	ウエルフェア	その他
一般物流	○	○	○		○
3PL	○	○	○		○
オフィスサービス	○				
ビルデリバリー	○				
ITサービス	○	○	○		○
介護サービス				○	

※ 売上高が計上されている部分を「○」で表記しております。

- 中期経営計画2028で掲げている「連結配当性向30%以上」を基準とし、安定的かつ継続的な配当を実施していく方針

1株当たり配当金・配当性向の推移

業績の上方修正に合わせ、当初中期計画の57円から、9円積み増しし、過去最高の**1株当たり66円**の配当を予定



01

2026年3月期 連結決算概要

P.2

02

中期経営計画2028の上方修正

P.5

03

2027年3月期 連結業績予想

P.7

04

業績・株主還元の推移

P.9

05

トピックス

P.14

2026年3月17日に、当社及び当社グループの株式会社ヒガシトゥエンティワンが、
三井住友ファイナンス&リース株式会社及び**SMFLレンタル株式会社**との間で、
業務提携契約を締結いたしました。

- 株式会社ヒガシトゥエンティワンは、SMFLレンタル株式会社向けの専用拠点を整備し、西日本地区におけるPCキッティング業務等を受託いたします。本業務提携を通じて、ITサービス事業の更なる成長を目指してまいります。



- **SMFLレンタル株式会社専用**のPCキッティング等に対応する拠点を整備し、サービス提供を拡大
- キッティング、現地セッティング、保守・メンテ、データ消去・廃棄までのワンストップサービスを提供可能

- 三井住友ファイナンス&リース株式会社の、広範かつ強固な顧客基盤とネットワークを活用し、幅広いお客様へIT機器レンタルを提供
- 当社が整備する専用拠点により、**西日本地区におけるPCレンタル品の供給力が強化**され、より多くのお客様からの要望に対応可能に

双方のグループ全体での企業価値向上を目指す

株式会社FMサポート21が**新拠点でのビルデリバリー事業**を開始しました。

- 当社グループの株式会社FMサポート21では、独自のノウハウを活かし、高層ビル内配送を効率化する「ビルデリバリー事業」を展開しています。近年の都心大規模再開発の機会を捉えたビルデリバリー拠点の拡大を着実に進めており、2025年度は東京・大阪で合計8拠点を新規開設いたしました。
- 2025年12月にはIT tower TOKYO(東京都)、淀屋橋ゲートタワー(大阪府)、2026年3月にはクオーツ心斎橋(大阪府)での新規ビルデリバリー業務を開始しております。

<2025年度開設拠点>

開始時期	ビル名
4月	TWIN21MIDタワー (大阪府) 松下IMPビル (大阪府)
5月	赤坂トラストタワー (東京都)
8月	ヒューリック銀座ビル (東京都)
11月	八重洲ダイビル (東京都)
12月	IT tower TOKYO (東京都) 淀屋橋ゲートタワー (大阪府)
2026年 3月	クオーツ心斎橋(大阪府)

■ IT tower TOKYO



■ 淀屋橋ゲートタワー



■ クオーツ心斎橋

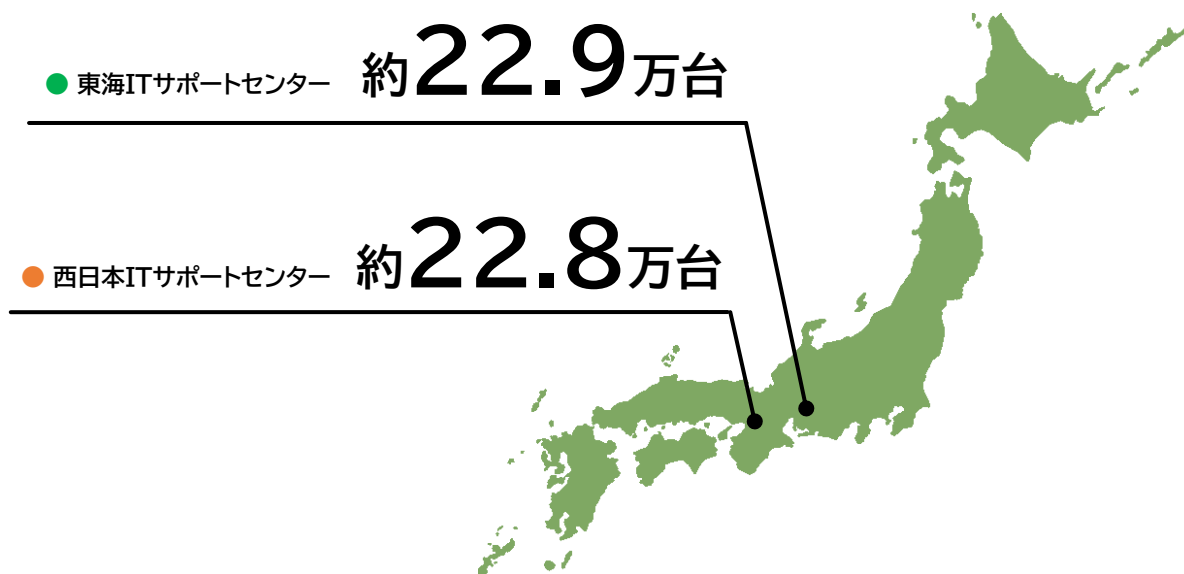


 FMサポート21 その他実績

ITサポート事業部が『NEXT GIGAスクール構想』に関わる端末更新案件を受注しました。

- 当社グループの株式会社ヒガシトゥエンティワンITサポート事業部において、文部科学省が推進する「NEXT GIGAスクール構想」に関連する案件として、全国の教育現場で活用されるICT機器のキitting業務を受注いたしました。
- 当事業部は2020年の「GIGAスクール構想」初回導入時にも多数の自治体向けにサービス提供を行いました。その作業品質とサポート体制、物流領域で培った柔軟なオペレーション提案力を評価いただき、今回の継続受注に至りました。
- 2025年度の受注台数は計45万台以上に上り、教育現場の円滑なデジタル学習環境の維持・発展に寄与しております。

2025年度受注台数

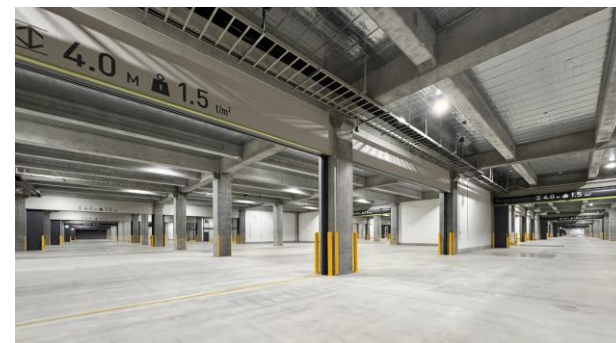


3PL事業の拡大に伴い、既存の大手EC向け大型3PLセンター**流山LCを増床**いたします。

- 当センターは 2023年4月の開設以来、大手EC向け大型3PLセンターとして順調に稼働を続けており、この度、3PL事業の業容拡大を受け、増床に至りました。
- 今回の増床により、延床面積は現在の約14,871坪から約29,533坪へとほぼ2倍となり、当社グループ史上最大規模の3PLセンターとなります。また、増床部分は2026年5月より稼働開始いたします。

■ 流山LC 増床部分概要

稼働開始	2026年5月
所在地	〒270-0104 千葉県流山市森のロジスティクスパークー丁目383番地11 常磐自動車道「流山IC」から約2.5km 都心25km圏内
延床面積	14,662.8坪 (内訳:倉庫・バース 14,359.00坪、事務所 303.80坪)



- 2025年6月に株式会社ピアレス(直近の売上高:3.9億円)が当社グループに加わり、2025年10月よりPLの連結を開始いたしました。
- 当社グループが展開しているITサービス事業の業務対応力が強化され、ICT機器導入サービスにおける設計、導入、運用・保守まで一貫したサービスが可能となり、更なる事業拡大を目指します。

<株式会社ピアレス>

所在地	東京都墨田区江東橋5-13-13 ナガオビル3階
代表取締役	鈴木 謙
設立	1995年11月
資本金	10百万円
事業内容	首都圏でのICT機器の導入時におけるシステムの企画、キitting、データ消去、サーバー構築に加え、常駐・リモートによる運用支援や障害対応といった幅広いITサービス事業を展開



- ICT機器導入時におけるプロジェクトマネジメント、環境構築等の設計
- IT全般に関するヘルプデスク対応等の運用・保守



〔グループ化によるシナジー効果〕

ICT機器導入サービスにおける、
設計、導入、運用・保守までの
一貫したサービス提供が可能に



ヒガシグループ

- 大規模ICT機器導入時の荷受・管理、キittingや旧機器回収・データ消去等



Evolution for Customers

———— 全進で未来へ “シンカ” ————

(注意事項)

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている内容は、ヒガシグループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでおります。このため、将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる業績に関する予想及び見通しの記述の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

✉ IRメール配信登録